

H23年度 岡山大学
大学院医歯薬学総合研究科
(医学・歯学系 修士課程 医歯科学専攻)
第2回 募集説明会

日時

平成22年 5月28日 (金) 14:00-19:00

場所

岡山大学医学部基礎研究棟

1階 大学院セミナー室、研究室見学

鹿田キャンパス内 (http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_5.html)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（医、歯学系）は、出身大学や学部を問わず熱意のある学生を募集しています。

日程

出願期間：平成22年8月2-6日

試験日：平成22年8月25日

合格発表：平成22年9月3日

受験科目：英語、志望専攻科目

連絡先

研究室見学、説明会、入試について
大学院医歯薬学総合研究科大学院係
TEL：086-235-7986, 7987 (8:30-17:15)
土日祝日の電話の対応はできません。
Mail：kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp

研究室の一覧及び内容は、下記ホームページを参照してください

<http://www.hsc.okayama-u.ac.jp/mdps/>

第2回 説明会参加研究室の紹介

生化学

細胞内膜輸送の分子機構を解明しています。さらに細胞内膜輸送に関わる様々な病気(がん、HIV、細菌感染)の病態解明に取り組んでいます。アプローチは、主にライブイメージングや電子顕微鏡での解析を中心とした生化学的、細胞生物学的手法を用いています。また、神経系で機能するエンドサイトーシス分子の解析等を通じて、糖尿病や男性不妊症の新規治療法や神経再生につながる基礎研究を展開しています。

システム生理学

生体機械受容システムの解明を目指しています。分子生物学的手法を用いた機械受容センサー分子の同定、電気生理学・イメージング生理学を駆使した細胞の機械受容応答、ノックアウトマウスを用いた生理学的解析を行い、メカノバイオロジーを展開することで、機械受容機構の全貌を解明します。

分子医化学

生体を支える細胞外マトリックス(ECM)について研究しています。ECMはレセプター等を介し、常に細胞へ作用しています。生命原理の追求から臨床への橋渡し研究までを行なっています。

脳神経内科学

高齢化に伴って患者数増加が著しい認知症や脳卒中の有効な治療法の開発や、難治性神経疾患の病態解明と新規治療法開発を、各種の神経疾患モデル動物を用いた基礎的研究や臨床データの解析などを通して実践しています。

細胞生理学

脳神経の分子レベルでの機能解明から、疾患治療法の開発へと展開しています。詳しくは、

細胞生理学 脳神経 タンパク質セラピー

検索

眼科学

遺伝統計学や分子遺伝学を使って、斜視遺伝子の解明を目指しています。一方、トレハロースの生体保護作用、岡山大学方式の人工網膜の製造と品質管理に向けた研究を進めています。

細胞生物学

細胞培養技術に分子細胞生物学的解析、動物実験等を有機的に組み合わせて、細胞増殖、分化の分子機構解明、幹細胞の解析と応用、がん幹細胞の本態解明、新規がん遺伝子治療法の開発等、広範な分野で高度な研究を展開しております。

分子遺伝学

がんや疾病の発症機構を解明する為に分子生物学的解析を基に、原因遺伝子の発見、変異の検出、変異蛋白の機能解析、疾病の早期発見技術の開発、発症リスクの解析などを行っています。